

第3章 五日市線

第1節 8月18日（土）：武蔵五日市～拝島 小雨

武蔵五日市～武蔵増戸～武蔵引田～秋川～東秋留～熊川～拝島
以下、青梅線（拝島～立川）・南武線（立川～谷保）についても記載。

青梅線：拝島～昭島～中神～東中神～西立川～立川

南武線：立川～西国立～矢川～谷保

平成13年8月18日（土）、この日は銚子を予定していたが、余り天気がよくなく、本日のウォーキングすら中止しようと思った。でも、自宅を出る頃は雨が降っておらず、9時頃自分自身葛藤した結果、近場にコースを変更することで急遽決行に踏み切った。近場であれば、雨に遭ってもすぐ中止ができるからである。その結果、武蔵五日市線を選定することとなった。自宅からアクセス時間が比較的かからない近場のコースは、ウォーキングのリリーフ役として、急遽思いついた時や時間が余りない時など非常に有意義なのである。

拝島までは主として五日市街道と奥多摩街道を通る。五日市駅には南武線を使い立川に行き、そこから拝島経由の五日市線に乗って行った。



※武蔵五日市駅

立川駅には拝島方面行き電車のホームが2箇所あることに気付かず、定刻の時刻になっても待てど暮らせど来ず。それで30分位ロスし、五日市には11時50分頃着くことになる。駅前のコンビニで昼飯を買い込んでスタートとなった。山の中に五日市線が走っている。拝島の近くで多摩川に合流する秋川では釣りをしている人がいた。今日は終日夕立に会い景色を楽しむ気分とはいかなかった。雨の合間、拝島の近郊の道路沿いにあるベンチで昼食をとった。拝島近郊は八高線で歩いたこともあり懐かしさを感じた。昭島、中

神等を通り立川には5時半頃着く。この時の万歩計は45,256歩だった。この季節この時間帯ではまだ辺りが明るいので、南武線まで延長し歩くことにした。



※武蔵増戸駅、武蔵引田駅



※秋川駅、東秋留駅



※熊川駅、拝島駅

立川から西国立の道が結構難しかった。もう少しで日野方面に行きそうになった。谷保を経過したとき 18 時半頃だったのでここで打ち切ることにした。今日の成果は 21.9Kmであった。自宅には 8 時少し前に着いた。万歩計は 48,539 歩だった。残念なことに、原因ははっきりしないが 2~3 日後左腕を中心に虫刺されで 1 週間程度かゆみが取れなかった。「歩くときには細心の注意が必要である」ことを改めて思い知らされた。

第 2 節 五日市線リベンジ

2021 年 12 月 24 日（金）晴れ、五日市線・青梅線（営業キロ 18.0 km）にリベンジ。本日、20 年振りに歩いたが、どの駅舎も全く、私の記憶から消滅していた。記録によると、昼食は拝島駅のベンチとあり、2001 年 8 月 19 日（土）、武蔵五日市駅（11 時 50 分）～拝島（到着時刻？）～立川（17 時 30 分）～谷保（18 時 30 分）と五日市線・青梅線・南武線経由の営業キロ 21.9 km を歩いたとあった。しかし、上記の 3 駅舎は到着時刻の記録ありだが、それ以外の駅舎はなし。また、立ち寄り駅舎写真も未撮影が多かったので、本日 13 回目のリベンジとなった。これで何とか”日本横断歩き鉄の旅” PDF シリーズの第 21 編（南武線・横浜線など）を執筆できる材料が揃いホットする。



※立川駅

本日の各駅舎の到着時刻は次の通り。

武蔵五日市（10:30）～武蔵増戸（11:27）～武蔵引田（11:58）～秋川（12:28）
～東秋留（13:17）～熊川（14:33）～拝島（14:52）～昭島（15:30）～中神（15:51）
～東中神（16:10）～西立川（16:31）～立川（17:07）



※武蔵五日市駅

①立川駅 9時50分発の電車で武蔵五日市駅（10時30分）に移動する。この駅は、小高い丘を上った先にあった。東京では殆ど見えない山が近くにあった。高架した鉄道に沿って歩く。10時48分、三内バス停（あきる野市循環バス）前を通過。10時58分、正月飾りの準備を終えた”正一位岩走神社”で本日の安全を祈願する。”富は屋を潤し徳は身を潤す”とある含蓄ある掲示板に感服する。11時5分、伊奈坂上バス停前（西東京バス）を通過。山田通りを歩き、武蔵増戸駅に11時27分到着する。武蔵五日市方面の電車が停車していた。



※武蔵五日市駅



※武蔵五日市駅からの風景、武蔵増戸駅への路



※正一位岩走神社



※山田通り、武蔵増戸駅



※武蔵増戸駅、幼少の頃を思い出す

②大根やキャベツなどがある田園風景を堪能しながら歩く。幼少の頃の故郷を思い出し、懐かしくなる。人口も1千万を超えるし、街あり、公園あり、緑あり、田圃あり、山あり、海ありの一国家と思える”大東京”の凄さに改めて感服する。11時50分、山田第一踏切を横切り、鉄道の左側となる。踏切を渡ると工事現場となっており、大きく迂回を余儀なくされ、武蔵引田駅には11時58分到着。



※武蔵引田駅

③12時9分、あきる野市立西中学校前を通過。12時13分、代継（よつぎ）第二踏切を横切り鉄道の右側となる。鉄道が大きく曲がっている関係で、12時23分、五日市街道踏切を横切り、鉄道の左側となる。その先に秋川駅（12時28分）があった。広々とした賑やかな駅前であった。駅前広場に面して東横インがあった。隣のパン屋でランチとする。



※秋川駅、東横イン



※秋川駅、美味しいパン屋

④鉄道に沿って淡々と歩く。上りと下りの線路の間にある、東秋留駅には13時17分到着する。近くに二宮神社（13時26分）と穴守稻荷神社（13時30分）があった。



※東秋留駅への路、野菜畑、二つの踏切の間に東秋留駅



※東秋留駅、坂道を下り工場エリアに突入

⑤鉄道に沿って工場などがあつた。東秋留駅から熊川駅の間には平井川と多摩川があり、たさい橋（111歩）・多摩橋（369歩）を渡るために1km位迂回を余儀なくされた。多摩橋を渡ると、あきる野市から福生市（ふっさ）となる。迂回した関係で鉄道から大きく乖離する。何人もの地元の人に聞きながら、やっと14時33分熊川駅に到着する。2.4kmの営業キロに1時間13分要する。本日、一番の難所であつた。



※多摩川をやっと渡る、福生市へ、桜並木路を歩く



※やっと線路沿いに到着、熊川駅

⑥鉄道 の 右側 を 淡々 と 歩く。14 時 47 分、国道 16 号線下を潜る。五日市線、青梅線、八高線、西武線が合流する拝島駅には 14 時 52 分到着。駅前 は 賑やか で あった。



※熊川駅、拝島駅



※拝島駅、昭島駅への路

⑦八高線と西武線の方向に行かないよう用心して歩く。ここでも地元の人をサポートで迷わず青梅線に沿って歩くことができる。昭島駅、中神駅、東中神駅、そして西立川駅と幹線道路に沿ってあったため、順調に歩くことができる。東中神駅で肌寒くなり、武蔵増戸駅で脱いだセーターを着る。東中神駅界限には都立昭和高校(16時21分)があった。グラウンドで数十名が部活活動をしていた。



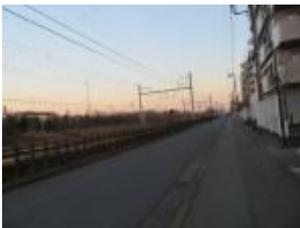
※昭島駅



※中神駅への路、中神駅



※東中神駅への路、東中神駅



※西立川駅への路、西立川駅

⑧16時35分、航空支庁西門踏切を横切り、鉄道の左側となる。左手に昭和記念公園、右手に青梅線を見ながら、クリスマス飾りがある道筋を通り、立川駅を目指す。伊勢丹を經由し、イルミネーションが綺麗な立川駅には17時7分到着。17時14分の川崎行きで家路に。



※西立川駅、昭和記念公園沿いを歩き立川駅へ



※遠くに伊勢丹、立川駅



※立川駅

本日の歩きで通算営業キロは、1万2千847 km（歩き日数 628 日、日本の鉄道の 46.4%）となった。また、暦年で 1,256 km（歩き日数 62 日）と 21 年間の中で最も最長記録となった。恐らく、本日が 2021 年の最後の締めウォーキングとなろう。「コロナ禍の中、よくもここまで歩いたなあ」と自分に敬意を表したい心境となった。願わくは、来年も年間 1 千キロを目指し頑張りたいものである。



※立川駅、南武線ホーム